



2022年3月

AIPPI News



President からのメッセージ

AIPPI President, Luiz Henrique do Amaral

親愛なる AIPPI 会員の皆様

ご存じのことと思いますが、AIPPI にとって極めて重要な記念日が近づいています。5月13日、本会の創立125周年記念の行事をブリュッセルで執り行います。ブリュッセルは1897年に、20名の人々が集い、産業法のハーモナイゼーションのために力を合わせてゆくことを決めた地です。

[続きを読む](#)

創立 125 周年記念 - 会議・夕食会

1897年から知的財産の振興に取り組む

創立 125 周年を記念して、AIPPI ベルギー部会と AIPPI 本部は、ブリュッセル中心部の SQUARE および VAUDEVILLE を会場として、ハイブリッド（現地+オンライン）の会議と祝賀夕食会を一日限りで開催します。

以下の画像をクリックすると、イベントの特設サイトへアクセスして参加登録できます。



2022 年スポンサー募集のご案内

創立 125 周年記念の特別なスポンサー・パッケージは、今回の祝賀イベント関連だけでなく、この一年を通してのスポンサー掲載です。申し込み順で 5 社までとします。また、2022 年 AIPPI サンフランシスコ総会のスポンサー募集も始まっています。

スポンサー募集の詳細については以下の画像をクリックしてください。



本部 Pharma 委員会 - 試験的使用に対する免責についての再検討の提案

AIPPI Pharma Committee: John Todaro, András Kupecz, Eliza Saunders

本部 Pharma 委員会の小委員会は、1992 年東京総会の試験的使用に関する決議、および 2008 年ボストン総会の公衆衛生に関する決議を見直すべき時期が来ており、各国における、特許侵害の主張に対する抗弁としての試験的使用の実態に関するレポートや調査研究を実施すべきであると考えています。

[続きを読む](#)

FRAND 関連の紛争における ADR 手続に関するレポート

AIPPI Standards & Patents Committee: Pauline Debré, Gertjan Kuipers, Calvin Park

AIPPI ADR Committee: Rafael Atab, Steven Bauer, Aurélia Marie

本部 Standards and Patents 委員会と ADR 委員会は共同で、FRAND 紛争における ADR (裁判外紛争解決手続) の利用について、19 の部会によるアンケートへの回答を分析したレポートを作成しました。レポートは[こちら](#)からご覧になれます。このテーマについては、2021 年 10 月のオンライン総会における IP CAFÉ でも議論しています。

[続きを読む](#)

昨年の PCT 作業部会および総会についてのレポート

AIPPI PCT Committee: Mary Drabnis, Catherine Bonner

WIPO の特許協力条約 (PCT) 第 14 回作業部会がパンデミックの状況下、2021 年 6 月 14 日から 17 日まで、ハイブリッド形式で開催されました。大部分はオンライン参加でしたが、会場への参加もありました。

[続きを読む](#)

YouTube が初めての著作権透明性レポート (2021 年) を公開

Copyright Committee: Jan Bernd Nordemann

有名な DSM 指令 (デジタル単一市場における著作権に関する指令) 第 17 条に関する意見や、EU 加盟国内での実施に伴う課題について、[こちら](#)のページで紹介しています。





2022年 AIPPI サンフランシスコ総会 - 各議題のガイドライン

[議題 280 - 診断方法の特許適格性](#)

[議題 281 - 商標とインターネット/ソーシャルメディア](#)

[議題 282 - 人格権](#)

[議題 283 - 民事訴訟における営業秘密の保護](#)

法制度・事例解説

カナダ：超過クレーム料金や継続審査請求を導入する特許規則の改正案

Charles Boulakia - Ridout & Maybee, Canada



特許規則の改正案が 2021 年 7 月に公開され、パブリックコメントが募集されました。改正規則の最終版はまだ確定していませんが、今回の改正によって、カナダにおける特許出願人には、権利化戦略の修正や費用の増大などの影響が予想されます。

[続きを読む](#)

中国：外国企業による商標出願にとって有利な改訂

Maggie Mi, Ziming Yang - Chispo Attorneys at Law, China



2021 年末、国家知識産権局は、従来の「商標審査及び審理基準」に代わる「商標審査審理指南」を公開しました。この新たな指南は、すでに 2022 年 1 月 1 日に施行されています。

[続きを読む](#)

イタリア：秘密保持契約に違反した場合のイタリア法における営業秘密保護の境界

Chiara Gaido - Italian AIPPI member

最高裁は 2021 年 11 月 29 日の判決において、当該分野の専門家による付加的な努力を伴わ

ない単なる技術（この場合は、油圧ディスクブレーキの製造）は、知的財産法典（IIPC）の第 98 条および第 99 条によって保護される営業秘密には当たらないとする下級審の判決を支持しました。

[続きを読む](#)

日本：特許権者の査証命令申立てが却下された裁判例

窪田法律事務所 今井優仁

東京地裁における特許侵害事件（東京地判令和 3 年 3 月 30 日（[令和元年（ワ）第 30991 号](#)）日本語のみ）において、特許権者は査証命令を求める申立てをしましたが、裁判所は、当該特許は無効であり、したがって査証は必要ではないとして、この申立てを却下しました。

[続きを読む](#)

マレーシア：2022 年（改正）著作権法：利用機会促進のための取組みと著作権者の勝利

Gooi Yang Shuh - Messrs Skrine, Malaysia

本稿では、この度の著作権法改正に含まれる、マラケシュ条約（視覚障害者等による著作物の利用機会促進マラケシュ条約）加盟への対応、著作権の集中管理団体制度の強化、オンラインでの著作権侵害に関する新たな違法行為の設定などについて、最新情報を紹介します。

[続きを読む](#)

ロシア：裁判所によって保護された外国の著作権

Marina Grineva - EUROMARKPAT, Russia



玩具はロシアの子供たちにも人気があります。個人起業家が「スーパーウイングス」という変形ロボット玩具を販売していたのですが、フリップ、チェイス、トッド、ジェット、ディジーといった一連のキャラクターは、じつは中国企業 Alpha Group が所有する著作権で保護されているアート作品でした。

[続きを読む](#)

セルビア：UGG ブーツに関する訴訟における興味深い判決

Mihajlo Zatezalo - PETOŠEVIĆ, Serbia

2021年9月9日、ベオグラードの商事裁判所は、UGG ブランドを所有する Deckers Outdoor Corporation が、セルビアの履物小売業者 Obuća Metro を相手取って起こした訴訟を棄却しました。この訴訟は、UGG ブーツのデザイン画に対する著作権侵害に基づくもので、同社の意匠登録は、EU と米国においては有効ですが、セルビアでは効力がないため、法的根拠がないとして棄却されました。



[続きを読む](#)

タイ：過去最高の賠償額はトレードドレス保護にとって好ましい兆候

Suebsiri Taweepon, Waralee Sripawadkul - Tilleke & Gibbins, Thailand



タイの知的財産制度において、トレードドレスは最も保護が困難な形式のひとつで、特に「店舗レイアウト」のトレードドレスは、明確な法律や判例がないため、知的財産権の保護と行使を困難なものにしてきました。しかし2021年12月、知的財産国際貿易裁判所（IP&IT Court）によって、このようなトレードドレスに関する判例となるべき判決が示されました。

[続きを読む](#)

各国部会

オーストラリア：AIPPI 会員への勲章授与

Michael Dowling - Australian AIPPI member

オーストラリア建国記念日（2022年1月26日）にオーストラリア総督から発表される Australian Honours において、Michael Dowling 氏がオーストラリア勲章の叙勲者名簿に加えられました。[受賞者の発表](#)と [Michael Dowling 氏の経歴](#)です。授与式は、4月または5月にメルボルンの総督官邸で執り行われます。



コスタリカ：電子的な商標登録証の導入

Blanca Mejia - Bufete Mejia y Asociados, Honduras (AIPPI Central American and Carribean Group)

コスタリカの産業財産登記所は、登記簿のデジタル化に関して、電子化した商標登録証を2022年に導入するという方針を発表しました。

紙の登録証ではなく電子登録証を受け取りたい場合は、登録出願ごとに、出願人または代理人が、願書の提出時点で、または登録証の交付までに提出する追加書類において、その旨を明記する必要があります。

この申請によって料金が変わることはありませんが、電子謄本については、申請と所定の手数料が必要になります。

日本部会：英文ジャーナル『A.I.P.P.I.』最新号 (Vol 47, No.1)

AIPPI JAPAN 阿部正俊

日本部会の英文ジャーナル『A.I.P.P.I.』の最新号 ([Vol 47, No.1](#)) が、お読みいただけるようになりました。今号の目次を載せたのでご覧ください。

日本部会では、我が国の知的財産制度に関する情報を海外へ発信するため、英文の隔月誌『A.I.P.P.I.』を1965年より発行してきました。

AIPPI 会員であれば、各号のすべての内容をオンラインで閲覧可能です (ダウンロードや印刷はできません)。世界中の多くの会員の皆様に興味を持っていただければ幸いです。バックナンバーも、AIPPI ウェブサイトの会員ページでお読みいただけます。

A.I.P.P.I.	
Bimonthly Journal of International Association for the Protection of Intellectual Property of Japan (AIPPI JAPAN) Vol. 47 No. 1 2022	
CONTENTS	
ARTICLES	
Result of Study on Grace Period for Universities, SMEs and Startups By SHIMIZU Yuki, TANIMOTO Remi	3
2021 Copyright Law Amendment By AOKI Shujiro	16
Related Design Registration System in JAPAN By MIZUNO Minako, IMAEDA Hiromitsu, William H. Morgan	25
IP CASE SUMMARIES By AIPPI - JAPAN	42
FAMOUS TRADEMARKS IN JAPAN	56
INDEX - 2021	59
ADVERTISEMENTS	64
LIST OF CONTRIBUTORS	68
LIST OF ADVERTISERS	68

©2022 AIPPI. All Rights Reserved

Tödistrasse 16, 8002 Zürich, Switzerland

免責事項：

AIPPI は伝達する情報の正確性を期すべくあらゆる努力をしていますが、これらの情報は、特定の資格を有する専門家の助言に代わるものとみなされるものではありません。AIPPI は、インタビューで表明された意見やウェブの外部リンクを介して提供される情報に対しては一切責任を負いません。